



みんぐう生

- 良性発作性頭位めまい症（頭を動かした時に起こるめまい）… 2
- スポーツ中の膝の怪我～膝前十字靱帯損傷～ ……………… 3
- 脳卒中リハビリテーション看護認定審査に合格しました …… 4
救急看護認定看護師審査に合格しました
- 香川で日本東洋医学会学術総会が開催されます ……………… 5
- 山の話（41）…………… 6
- 「安全衛生優良従業員」表彰をうけました ……………… 7
さかいで大橋まつり
- 外来診察予定表 ……………… 8



● 医事課より患者さまへお知らせ

平成18年3月より、保険証確認は各科外来におきまして、いずれかの科のみでの御提示となりました。毎月初来院日及び保険証が変更されました際には必ず御提示くださいますようお願ひいたします。

回生病院理念 皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは、質の高い医療を提供します
- 二、私たちは、保健・医療・福祉と連携を図ります
- 三、私たちは、予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 二、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 三、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 四、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 五、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 六、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

題字揮毫
元県知事・前川忠夫

2015年9月
279号

9月



良性発作性頭位めまい症

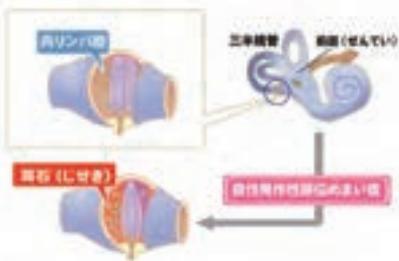
(頭を動かした時に起こるめまい)

耳鼻咽喉科 課長 宋 碩柱

起き上がる、姿勢を換えるなど頭の動きを伴う動作をきっかけに、突然起こる回転性のめまいです。1分ほどで治まりますが、時には嘔吐を伴うことがあるほどぐるぐると回転する感覚が強いため、恐怖を感じる人は少なくありません。めまいで診察を受ける患者さんのなかでは、一番多いめまいです。



原因としては、半規管という「体の平衡を保つ」働きを持った器官があり内部はリンパ液で満たされています。この半規管内のリンパの流れを乱すものが生じた結果、回転性のめまいが



起こると考えられています。最も多いのが、耳石器からはがれた耳石が半規管に入り込んだ浮遊耳石です。頭を動かすと、その動きによるリンパの流れも生じるため、めまいが起ります。また、はがれた耳石が半規管内に沈着することも、めまいの原因となります。

めまいは、診察を受ける時には治まっていることがほとんどです。どのようなめまいだったのかは診断に重要な情報ですので、「めまい発作が起きた時間、動作や姿勢」、「めまいの症状（ぐるぐる？ふわふわ？その他）」、「めまいに伴って出現した症状（嘔吐、耳鳴り、難聴など）」を焦らずゆっくりと思い出して医師に伝えてください。

・治療法と対処法

良性発作性頭位めまい症では、めまいの起きる特定の姿勢を繰り返しているうちに、次第に発作が起きなくなっていくという“慣れ”が生じることが知られています。この特徴を利用して、積極的にめまいが起きる姿勢を繰り返して“慣れ”的な状態へと導くことが重要です。怖がらず実践してみてください。

良性発作性頭位めまい症は一番多いめまいですが、一番治りやすいめまいもあります。にもかかわらず、めまいに対する恐怖感がストレスとなって、めまいが起きないように自分の生活を自分で制限してしまう人が少なくありません。

良性発作性頭位めまい症は“慣れ”ることができれば症状が軽快する疾患です。こわがりすぎないことが大切ですが、めまいの恐怖で生活に支障をきたしてしまう前に医師の診察を受けるようにしてください。



スポーツ中の膝の怪我 ～膝前十字靱帯損傷～

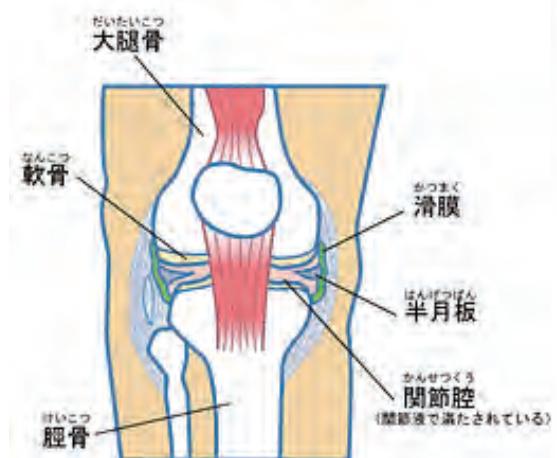


関節外科センター 課長 近石 宣宏

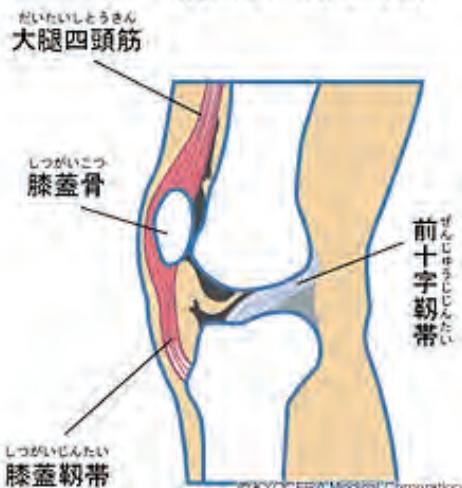
スポーツには怪我が付き物ですが、特に足首や膝の怪我というのは多く見られます。その中でも膝前十字靱帯損傷は最も重症と言える怪我の一つであり、決して少なくありません。スキーやバスケットボール、サッカー、バレーボールなどのスポーツで相手選手との接触やジャンプの着地で膝を捻ることで、靱帯が損傷されます。



縦断面（正面図）



縦断面（横面図）



膝前十字靱帯損傷を起こした直後は膝の中に出血がたまり、膝の腫れ、曲げ伸びの困難さ、痛みによる歩行困難を伴う事が多いです。2～3日で膝の腫れや痛みのピークは減少し、1～2週間くらいで歩行は十分出来るようになり、1ヶ月くらい経過すれば日常生活の支障はほぼ無くなります。靱帯を損傷していても痛みを感じることは少ないので、損傷したままでいると靱帯の関節固定機能が働かないため「膝が外れそうな感じ」を繰り返します。

この「膝が外れそうな感じ」はスポーツ時や階段下降時によく自覚します。膝くずれや不安定感が続くと半月板（関節のクッション）が擦り切れてくるため、半月板損傷や関節表面の軟骨損傷を伴って痛みが出現してきてしまいます。従って不安定感のある方は治療の必要があります。



診断は身体診察やMRI等で行います。体にある大多数の靱帯は固定・安静にて自然治癒し機能がもどることが多いのですが、膝前十字靱帯は関節内の靱帯のため自然治癒が困難であり、手術により靱帯の再建が必要になります。手術後は移植した靱帯の正着と筋力回復のリハビリのため、スポーツ復帰には約9ヶ月前後必要とします。

脳卒中リハビリテーション看護認定審査に合格しました

5A 病棟看護係長 矢野 稔典



関西福祉大学

2014年7月から2015年2月までの8ヶ月間、関西福祉大学看護キャリアアップセンター脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程で研修を受け、2015年5月に行われた日本看護協会認定審査試験に合格しました。

研修機関では、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として活動してきた教員や多数の講師の方から、脳卒中リハビリテーション看護における根拠や考え方、支援技術、援助方法及び看護実践について学びました。10月から始まった臨地実習では、それら学んだことを活かし、先輩認定看護師の助言を頂きながら、急性期、回復期、維持期それぞれの場面において脳卒中患者様と向き合い、看護を深めることができました。

研修中慣れない一人暮らしと勉強の難しさで心が折れ、挫折しそうになることもありますでしたが、同じ思いを持った仲間や教員に支えられ、励まされることで前に進むことができました。多くの出会いや学びは私にとって忘れられない宝物となりました。

今後は学び得たことを脳卒中発症で悩む患者様や家族の方々の身近な存在として、寄り添いサポートし、患者様の望む人生が歩めるよう支援していきたいと思います。また他職種と協働しながら、病態を含め全人的に患者様を把握し、リハビリテーションを行っていき、24時間の日常生活の看護ケアを生活再構築に向けて、計画的に関わっていければと考えています。どうぞよろしくお願ひします。



9月 自助具作成しプレゼンテーション



12月 ケーススタディ発表会

救急看護認定看護師審査に合格しました

救急科 加藤 智子

昨年7ヵ月間の九州での救急看護認定看護師教育課程を修了し、認定審査を経て、救急看護認定看護師の資格を取得しました。当院では2人目の取得者になります。

救急看護認定看護師とは、高度先進医療を担う救急医療ニーズにこたえて、救命技術から危機的状況にある患者及び家族への精神面の看護に至る幅広い救急看護領域の知識や技術に熟達し、的確な判断に基づいた確実な救命技術の実践や指導を行う看護師のことを言います。

当院には予期せぬ事故や病気などで多くの患者さんが来院されます。早期から患者さんや御家族に対して、医師と協力し少しでも不安なく治療やケアができるよう関わることを心掛けています。また、看護師には患者さんの急変に気づき、状況をとらえ、適切な対応をすることが求められます。それが現場で実践できるよう教育や研修などに関わっていきたいと考えています。確実な知識・技術によって最高の看護を提供していくことを目標に、精進していきたいと思います。



ケースレポート発表会



呼吸の講義（肺の解剖をTシャツに描いて確認）



修了式のあと同期と恩師を囲んでの1枚

「香川で日本東洋医学会学術総会が開催されます」

第1報

第67回日本東洋医学会学術総会を平成28年6月3日～6月5日まで高松市のサンポートホール高松、かがわ国際会議場、JRホテルクレメント高松の3会場にて開催されます。

伝統ある学術総会がこの度四国で初めて開催されることになり、会頭：清水 寛（東洋病院）、副会頭：竹川 佳宏（回生病院）、準備委員長：松田 和也（松田内科医院）、プログラム委員長：山岡 傳一郎（愛媛県立中央病院）、財務委員長：大宗裕人（東洋病院）を中心に中四国支部会員皆様のご協力を頂き鋭意準備を進めております。

メインテーマは『パラダイムの継承とその未来—多様な漢方に橋をかける』といたしました。

現在漢方は様々な流派、様々な治療法があり、それぞれ一定の評価を頂いております。と同時に西洋医学との接点も高まりを見せています。更にアジアのみで広がっていた漢方医学が、近年グローバル化と共に欧米各国でも精緻な漢方治療と科学的研究が行われるようになってきています。このような国際化をふまえて、今回様々な東洋医学の実体を明らかにすることと共に、それらを繋ぐ研究やエビデンスにも焦点を当てて未来の東洋医学の方向性を探ってみたいと思います。

招待講演の一つには『高齢化社会とオバマ大統領「Precision Medicine Initiative」』と題し、中村祐輔先生（シカゴ大学）のご講演を予定しています。これから日本の医療の目指す所が聞けると思います。

また、市民公開講座には山田洋次映画監督をお招きして楽しい時間を過ごして頂けると思います。

過去に無い四国ならではの特色ある学会を準備しておりますので皆様のご来場を心よりお待ちしております。

竹川 佳宏（社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院）



● 山の話
(41)

鎌田壽夫

▼ 比叡山（八四三）その二 ▲

前回は、二十歳になつた最澄が、東大寺で國家公認の僧になる試験に合格したところまで書きました。

この時代、この試験に合格できるのは、今の東京大学に合格するよりはるかに難しいことでしたし、この道を歩んでいけば、高級国家公務員として、正式な僧としての肩書が与えられ、給料も国から保証されるという、安定した人生を送ることができるのでした。

ところが、ところが、なんと最澄はこの身分を捨てる決心をします。

最澄は試験に合格して三ヶ月たつたときに、東大寺を去りました。そして、はるか離れた琵琶湖の西にある比叡山のなかに、ちいさな庵をたてて、そこで一人で仏教のことを勉強することにしたのです。合格するためにはずいぶん勉強もしたでしようから、合格してすぐにこの決心をした理由がわたしにはわかりません。

このころ、都は奈良から長岡（いまの長岡市）に遷っていました。ですから比叡山というのは、政治の中心の都から遠く離れた山奥でしかなかつたというわけです。ですから住むにしても、勉強するための本にしても、東大寺と比べると比較にならないほど悪い環境でした。

五十六才で亡くなるのですが、延暦寺を建て天台宗の祖となり、伝教大師とまで呼ばれるようになり、千二百年あとの教科書にもその名前が載るほど有名な人となつたのです。

最澄がかくべつ有能な人であつたということは、そのあとに書いた文章、その人柄をしのばせる逸話などでわかります。

しかし、それほどまでに有名になるには、幾多の偶然があつたのも事実です。この過程をたどっていくと、人間の運命というのは、つくづくわからないものだな、と思うのです。



最澄が四十才代ころに書いた手紙
(奈良国立博物館蔵)

さぞかし親や親族は驚いたことでしょう。父親や母親がまだ生きていたかどうかわからないのですが、「そんな無茶なことを思いつくなんて、おまえはいつたい何を考えているのだ。私たちには、村人やお上の人々に合わず顔がないよ、お願いだからどうか学問を続けておくれ」などと最澄に懇願したことでしょう。

いまでいう国立大学の役目をはたしていた東大寺でも、この若者の扱いをどうしたらいいのかこまつたことでしょう。休学にするのか、留学生にするのか、中退にするのかなど、相談したにちがいありません。

世の中のしくみからはみだすような生き方を選択した人はその後どのような運命をたどるのでしょうか。道をふみはずした人間として、あまり世の中で重要視されないまま、人生を終わる、と考えるのが普通です。

ところが、最澄の場合には、この常識はあてはまりません。

このあと最澄のまわりにどのようなことがおこつてくるのでしょうか。次回をお楽しみに。

（部分の意訳）

（続く）



『安全衛生優良従業員』 表彰をうけました

健康管理室 渡邊 智子

5月15日（金）、平成27年度香川労働基準協会坂出支部総会の席上において、「平成27年度安全衛生優良従業員」として表彰されました。

今回は病院を代表して私が表彰していただきましたが、当院の安全衛生管理活動が高く評価されたことは、病院管理部門はもちろん、産業医松本先生、安全管理室、感染管理室、総務課、そして何より職員の皆様のご理解とご協力の成果と思っております。

「安全衛生」とは聞き慣れない方もおられると思いますが、職場において労働者が安全に、健康に、快適に働くことができるよう行う活動で、「労働安全衛生法」には、事業主と労働者がお互いに協力して取り組むことが定められています。

建設業や製造業等では100年以上前から行われている活動ですが、近年医療業においてもその重要性がやっと認識されるようになりました。

当院では2011年に健康管理室を設置し、職員の健康管理をはじめ安全衛生管理活動を組織的・計画的に行う体制を整備しており、全国的にみても先進的です。健康管理室は学校にある「保健室」のようなところで、主に健康診断、保健指導、ワクチン接種等を行っています。

職員が安全に、健康に、快適に働くことができる職場環境を形成することにより、患者様によりよい医療が提供できるよう、引き続き病院一丸となって取り組んでまいります。

さかいで
大橋まつり
2015.8.1(土)

外来診察予定表

平成27年9月分

科目	曜日	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前			交代制			
専門外来	午前	一診 二診	鎌野 渡邊 正木 肝臓専門(15日)予約制	舟木	鎌野 渡邊 正木 肝臓専門(4日)予約制		
神経内科	午前				宮本(10日)	千葉(11・18・25日)	出、口 (5・19日) 久米 (12・26日)
呼吸器科	午前		近藤	近藤	近藤	近藤	近藤
禁煙外来(予約制)	午後 ~16:00			近藤			
血液内科	午前		河内		河内		
糖尿病センター (糖尿病・内分泌)	午前	一診 二診	桑島 和田		桑島 和田	桑島 和田	桑島(12・19日) 和田
心臓・血管センター(新患受付11:30まで)	午前	9:30~	小村	小村	(検査・手術)	小村	小村
女性漢方外来 ペインクリニック(予約制)	午前 9:00~12:00	野萱	野萱(1・29日)			野萱	野萱(5・26日)
午後 14:00~16:00	野萱	野萱(1・29日)					
脳神経外科	午前		沖屋	田村	沖屋	田村	田村
	午後		(検査)	(手術)	(手術)		(検査)
消化器外科	午前	一診 二診		三浦(1・8・29日) 塩田		三浦(3・10・24日) 塩田	
	午後 13:30~		(手術)	(手術)	(手術)		(手術)
呼吸器外科	午前		中村			中村	中村
	午後 13:30~		(手術)	(手術)	徳永		(手術)
血管外科	午前		近藤		近藤		近藤
整形外科	午前	一診 二診	小川(副理事長) 小川貴之	松浦(理事長) 小川貴之	森田 松浦(理事長)	片山 森田	小川(副理事長) 片山
	午後		(手術)	(手術)	(手術)		(手術)
関節外科センター	午前	一診 二診	五味 近石	大久保	二宮	五味 近石	大久保 近石
	午後		五味16時まで(予約制)	(手術)	二宮14時30分まで(予約制)		(手術)
産婦人科	午前	一診 二診	小倉浩二 小倉智子	西田	妊娠健診(予約制)	西田	小倉浩二 西田(5・12・19日)
	午後 14:00~			一ヶ月健診・精密検査 (予約制)			一ヶ月健診・精密検査 (予約制)
泌尿器科	午前		松本	秋山	高尾	秋山	松本
	午後 14:00~		(手術)	(手術)	(手術)		(手術)
メンタルヘルス科 初診の受付時間について 午前 8:30~11:00 午後13:30~15:30	午前	一診 二診	坂東 香川	神前 香川	坂東 香川	神前 坂東	神前 香川
	午後 14:00~	一診 二診	坂東	神前	坂東		坂東(こども外来)
認知症疾患センター(予約制)	午後		香川	香川	香川		香川
眼科	午前		塩田	湊	塩田	湊	湊 (5・19日) 藤田 (12・26日)
	午後 14:00~		(手術)	(検査)	(検査)		(検査・手術)
耳鼻咽喉科	午前		宋	表原	宋	表原	表原 (5・12・26日) 兵頭 (19日)
	午後 14:00~		表原	(手術)	(検査・手術)		宋
小児科	午前		下河	下河	下河	下河	下河
	午後		下河 (予防接種・診察15:00~)	下河(予防接種・一ヶ月検査 乳幼児健診・診察15:00~)	下河 (予防接種・診察15:00~)		下河(予防接種・一ヶ月検査 乳幼児健診・診察15:00~)
形成外科 (新患受付11:00まで)	午前		辻	(手術)	辻(9・16・30日)	辻	辻
	午後		(手術)	(手術)		(手術)	
放射線治療センター	午前		竹川	竹川	生島	竹川	
	午後		竹川	竹川	生島	竹川	
救急科				関・乙宗・音成・神野・西信・白神			

受付時間

●受付時間:

午前 8:30~12:00
午後 13:00~16:00
木・土曜日 8:30~12:00

●診察時間:

午前 9:00~12:00
午後 13:30~17:00
木・土曜日 9:00~13:00

*各診療科によって異なる場合があります。

お知らせ

- 各科とも上記の時間帯で受付、診察をおこなっております。ただし、耳鼻咽喉科・泌尿器科(予約制)の午後の診察は14:00から16:00までとなっております。
- 産婦人科午曜日(午前)は、妊娠健診(完全予約制)です。
- ごども外来(メンタルヘルス科)の初診は、完全予約制です。診察ご希望の方はあらかじめメンタルヘルス科外来までご連絡ください。
- もの忘れ外来(認知症疾患センター)の初診は、完全予約制です。診察ご希望の方はあらかじめ認知症疾患センターまでご連絡ください。
- 女性漢方外来は完全予約制です。診察ご希望の方はあらかじめ女性漢方外来までご連絡下さい。

予約受付時間: 月曜日 9:00~16:30 / 金・土曜日 9:00~12:00

*お問い合わせ先: 0877-46-1011(代表)

小児科より

- 予防接種(予約制) ※前日までに予約
毎週 月・水曜日 13:30~15:00
毎週 火・金曜日 14:00~15:00
●一ヶ月検診・乳幼児健診(予約制) ※前日までに予約
一ヶ月検診:
毎週火・金曜日 13:30~15:00
乳幼児健診:
毎週火・金曜日 14:00~15:00
●午前の一般診察(受付)
8:30~11:30
●午後の一般診察(受付)
月~水・金曜日 15:00~16:30

患者相談窓口のご案内

- 当院では、皆さまからの受診に関する不安・医療費の心配・介護保険や身体障害者手帳等の社会福祉サービスなど医療・福祉に関するご相談に応じています。何か不安な点や気になることがあればお気軽にお相談ください。
- 場所: 1階エスカレーター下
 - 時間: 月・火・水・金曜日
9:00~12:00 / 13:30~17:00
木・土曜日
9:00~13:00